

# あいち農産物生産流通レポート

平成29年6月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ 土壌に蓄積したリン酸を有効に利用するトマトの 低コスト施肥技術の開発	(農業総合試験場) 1
◎ 東日本情報	
・ 暖候期におけるブロッコリー入荷物の黄変・開花 について	(東京事務所) 3
◎ 西日本情報	
・ 野菜の価格動向と安定対策への取組について	(園芸農産課) 5
◎ フラワーページ	
・ 県の花「カキツバタ」の展示について	(愛知豊明花き流通協同組合) 6
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切り花・鉢花の6月の見通し(県内市場)	22

※ 今月、「地域トピックス」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。  
それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」

<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>

名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農作物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」

[http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?\\_toGL08020101\\_](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_)

を御覧ください。



# 土壌に蓄積したリン酸を有効に利用するトマトの低コスト施肥技術の開発

農業総合試験場

## 1 はじめに

愛知県の可給態リン酸含量（以下、「リン酸含量」とする）の基準上限値は土壌 100g 当たり 50mg ですが、県内の施設園芸産地では、約 8 割の施設ほ場でリン酸含量が 100mg 以上と過剰に蓄積しています（図 1）。

本県が策定した農産物の施肥基準では、リン酸施肥量の目安として、リン酸含量が 100mg を超える場合は 2 分の 1 に、さらに 200mg を超える場合は施用しないこととしています。

また、半促成栽培のトマト産地では、作型に適した全量基肥による施肥技術（必要な窒素を基肥 1 回で施肥する技術）が確立されておらず、生育にあわせて複数回の追肥をするため多くの労力を必要とします。これらの産地では、土壌へのリン酸の過剰な蓄積が見られますが、生産者は施肥量を減らすことによる収量や品質低下を危惧する傾向があり、リン酸施肥量の適正化が進んでいません。

そこで、愛知県農業総合試験場では、JA あいち経済連と共同して土壌に蓄積したリン酸の有効活用と追肥の省力化を目指し、トマトの半促成栽培に適した全量基肥による低コスト施肥技術を開発しましたので紹介します。

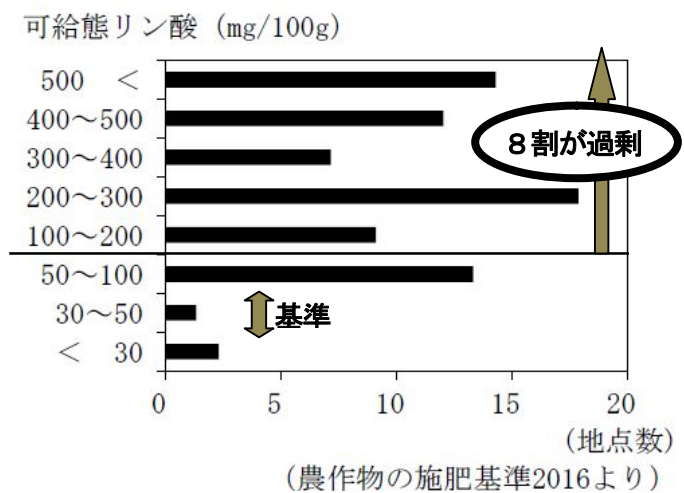


図 1 愛知県内施設土壌のリン酸蓄積量

## 2 成果の概要

試験は、リン酸含量が 200mg 程度と過剰に蓄積した農業総合試験場内の施設ほ場で行いました。全量基肥区では、窒素成分が徐々に溶け出す被覆肥料を用い、半促成栽培

に適した成分の溶出パターンを設計しました。リン酸は、施用しない区を含めて段階的に 4 区を設置しました。慣行区は基肥に加えて追肥 3 回としました（表 1）。

表 1 試験区の各肥料成分の施肥量 (kg/10a)

試験区	肥料	肥料成分			追肥回数
		窒素	リン酸	カリウム	
全量基肥区	リン酸0kg	20 ※	0	26	0
	リン酸4kg	20	4	26	0
	リン酸8kg	20	8	26	0
	リン酸14kg	20	14	26	0
慣行区	基肥	14	14	14	3
	追肥	10	0	12	
	計	24	14	26	

※被覆肥料による窒素量の利用率向上は20%として算出した。

トマトの生育及び収量はリン酸施肥量の多少にかかわらず、全ての全量基肥区で慣行区と同等となりました(図2)。また、トマトがリン酸を吸収する量も同程度だったことから、リン酸が蓄積したほ場ではリン酸を全く施用しなくても、土壌から生育に必要なリン酸が十分供給されたと考えられました(図3)。さらに全量基肥により追肥労力の削減も可能となり、リン酸を施用しないことや窒素施肥量を削減したことで、肥料費は慣行区に対して約3割削減できました。

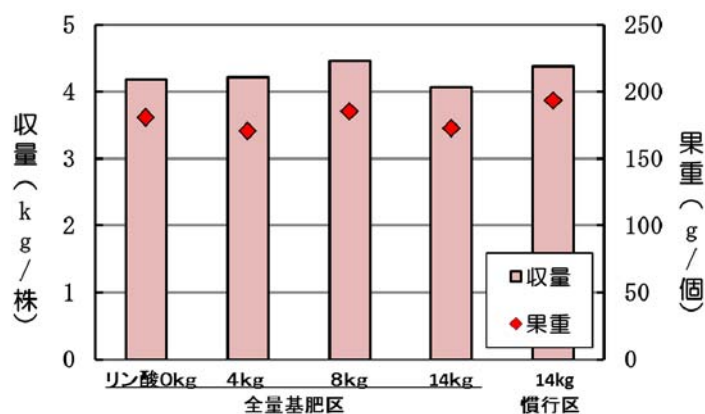


図2 一株当たりの収量及び果重

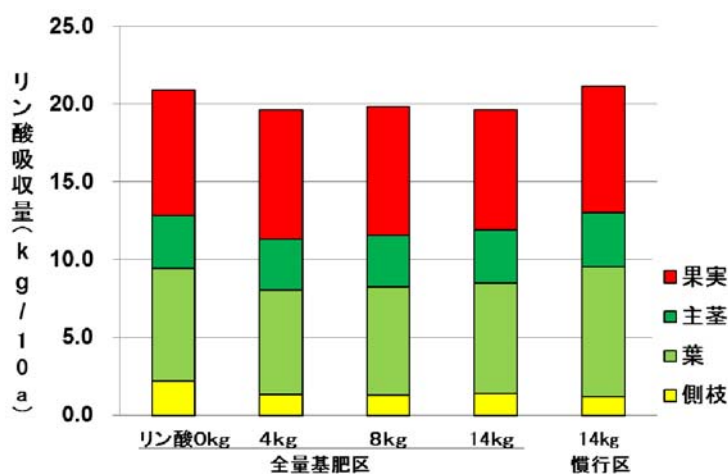


図3 トマトのリン酸吸収量

### 3 まとめ

リン酸が過剰に蓄積したほ場におけるトマトの半促成栽培では、今回開発した低コスト施肥技術を用いることで、リン酸を施肥しなくても慣行栽培とほぼ同等の生育及び収量となり、土壌のリン酸を有効に活用できることが分かりました。この施肥技術の利用により省力で低コスト、環境にやさしいトマトの半促成栽培が可能となります。

なお、開発した肥料の利用に当たっては、土壌に蓄積したリン酸を利用するため、施肥前の土壌診断でリン酸含量を確認する必要があります。

## 暖候期におけるブロッコリー入荷物の黄変・開花について

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

近年、東京都中央卸売市場（大田市場、築地市場等）へのブロッコリーの入荷量が増加しており、とりわけ4、5月の入荷量は10年前の約1.6倍となっています（図1）。

しかし、気温が高くなるこの時期、出荷されたブロッコリーには花蕾が黄変・開花するものが出てきます。これは、冬場での発生がほとんど見られないため、病気や痛みではなく、収穫及び流通時の温度管理等を原因とする鮮度低下によるものと考えられています。

春先以降のブロッコリーの鮮度低下は鮮魚並の足の早さです。鮮度保持の基本は「すぐ冷やすこと、冷やし続けること」です。

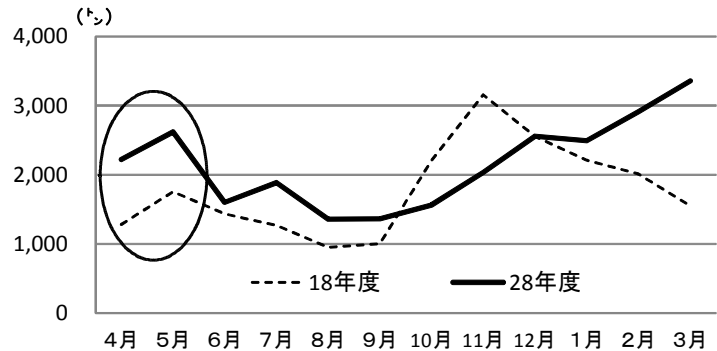


図1 東京都中央卸売市場の月別出荷量

### 1 産地の鮮度保持対策

暖候期（4～9月）が主な出荷時期となる北海道、長野などの産地では、夏の出荷に対応するため低温管理が徹底されます。出荷箱に発泡スチロールを用いたり、氷による直接保冷、冷凍車（保冷車）による流通が確立されています。それに対し寒候期（10～3月）を主な出荷時期とする産地では、早朝収穫を基本としながら、予冷、鮮度保持フィルムの利用、出荷箱に保冷剤や氷を入れるなど、産地ごとに様々な対策がとられていますが、夏場の産地ほど低温管理は徹底していません。



発泡スチロール箱

### 2 鮮度保持対策の課題

低温を保ち鮮度保持効果の高い夏場の産地の流通管理対策にも問題はあります。「発泡スチロール箱」は資材費が高くなる上に、密閉性が高いため輸送中に蒸れが生じ



出荷箱内の氷（入荷時点）

たり、使用後には処分費用が嵩みます。既存のダンボール箱を利用できる「氷」についても、導入には大がかりな製氷設備（施設）等が必要となります。他県では漁協等の施設を利用する事例もあるようですが、流通量が多い大産地では製氷が追いつかないため、簡単にできる方法ではありません。

### 3 カギを握る産地の取り組み

この時期、市場の荷置き場ではブロッコリーをほとんど見かけません。ほとんどの入荷物は直接冷蔵庫に搬入され、店頭に並ぶまで低温管理が徹底されます。しかし鮮度保持には「収穫から収穫後数時間までの温度」の影響が大きく、ほ場での収穫時から流通段階までの対策が求められます（表1）。これを実現するためには産地での対応が必要であり、産地の取組が鮮度保持のカギを握るといえます。

なお、大手宅配会社の一部では、受付時に冷やされていない生鮮品については、品質保証ができないことを理由に、クール便での受付をしていません。「速やかに冷やすこと」が効果的なコールドチェーンの入口です。

表1 鮮度保持の上でカギとなるポイント

- ① 早朝収穫（収穫時：気温が低く、糖度が高い時間帯に）
- ② 予冷体制（収穫後：速やかに温度を下げる）
- ③ 輸送中の温度管理（流通時：冷やした出荷物を低温で維持する）

### 4 暖候期の評価を高めるために

ブロッコリーの産地において、暖候期における鮮度保持は重要な課題です。気温が高くなるこの時期、仲買業者は競り前の冷蔵庫で品定めをしたり、低温管理を徹底する産地を優先することで、鮮度低下のリスクを回避しています。

「黄変・開花が発生しにくい」ことは、他産地に対して差別化を図る大きな宣伝材料となります。部会の得意とする協調行動（収穫・出荷ルール）や農協に予冷施設と保冷車の体制が整備されている点など、「系統出荷」のメリットが活きるチャンスかもしれません。



黄変したブロッコリーの花蕾

1～3月における本県産ブロッコリーの評価は非常に安定していますが、4月以降は低温管理を徹底する競合産地・春夏産地との厳しい比較の目に曝されます。今シーズンは終盤を迎えますが、来シーズンに向け東京事務所では他産地の鮮度保持対策の調査を続け、本県関係者に情報提供したいと思えます。

## 野菜の価格動向と安定対策への取組について

園芸農産課

### 1 野菜価格安定制度の概要

野菜の生産は、天候の影響を受けて作柄が変動しやすいという特徴があります。そこで、主要な野菜の価格が著しく値下がりした場合に、生産者に一定の補給金を交付して所得を確保することで、安定した野菜の生産と供給を図ることを目的として、野菜生産出荷安定法に基づき野菜価格安定制度が設けられています。

対象となる野菜は、全国的に生産量及び消費量が多く、国民生活から見て重要なもので、生産出荷の安定を図ることが特に望ましい野菜である「指定野菜」と、これに準ずる野菜である「特定野菜」があります。

#### 愛知県の対象野菜

「指定野菜」：キャベツ、たまねぎ、はくさい、きゅうり、だいこん、トマト、なす、にんじん、ねぎ、ほうれんそう、レタス

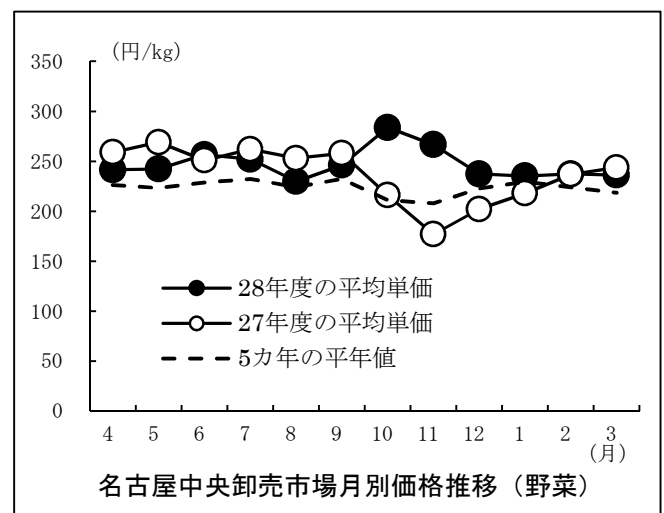
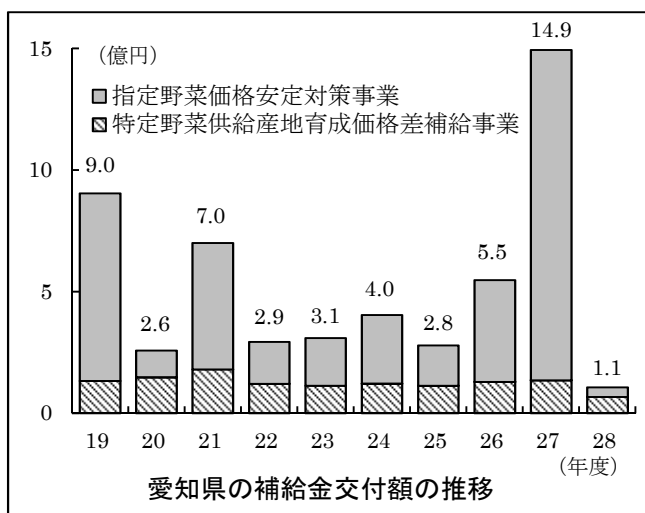
「特定野菜」：カリフラワー、しゅんぎく、スイートコーン、セルリー、ちんげんさい、ふき、ブロッコリー、みつば、れんこん

### 2 補給金の交付状況と野菜の価格動向

平成 28 年度の野菜価格安定制度に係る補給金交付実績は 1.1 億円（概算）と過去 10 年の中で最も少ない交付水準でした。名古屋市中央卸売市場における野菜の平均価格は、いずれの月においても平年（5カ年の平均価格）を上回る価格での推移でした。

近年では、平成 27 年度に暖冬による影響でキャベツの価格が低下し、愛知県産のキャベツの出荷が最盛期を迎える 11 月以降に価格が平年を下回って推移しました。このため、平成 27 年度の補給金交付実績は 14.9 億円と多くの補給金が交付されています。特に、11 月から 3 月にかけて出荷される冬キャベツに対しては交付額の 83.2%である 12.4 億円が交付され最も高くなりました。

このように、野菜の価格安定制度は主要な野菜の再生産を下支えしており、価格安定制度により毎日の食生活に欠かすことのできない野菜の安定供給が図られています。



## 県の花「カキツバタ」の展示について

愛知豊明花き流通協同組合

愛知県は、昭和 37 年以来 54 年連続で花の生産が日本一を誇る花の王国です。

このたび、愛知豊明花き流通協同組合では「花の王国あいち」をPRするため、本組合が品種保存に取り組んでいるカキツバタを愛知県に提供し、愛知県公館、愛知県庁本庁舎及び西庁舎で展示を行いました。

展示したカキツバタは、愛知県豊橋市のカキツバタ育種家である故・古橋壽雄<sup>ふるはしひさお</sup>氏が平成 23 年に愛知豊明花き流通協同組合へと寄贈された品種を保存し、育成したものです。

県の花として指定されているカキツバタは、清楚な立ち姿で咲き、5 月上中旬頃に見頃を迎えます。

### 1 愛知豊明花き流通協同組合の品種保存の取組

愛知豊明花き流通協同組合が開設した愛知豊明花き地方卸売市場の場内に、故・古橋壽雄氏が育種したカキツバタの株 60 品種を、豊橋市のほ場から移送しました。場内では、品種の特性に応じた水管理や夏季の遮光、春と秋の施肥、株分け・植え替えなどの保存活動に取り組んでいます。

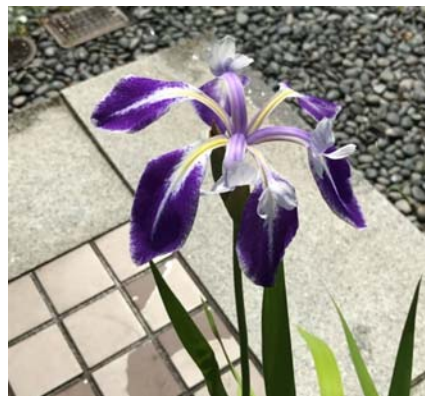
### 2 展示場所及び展示期間

#### ■愛知県公館

展示期間 平成 29 年 4 月 24 日（月）から 5 月 18 日（木）まで



公館テラス



品種名：青車



■愛知県庁本庁舎 1階及び西庁舎 1階

展示期間 平成29年5月9日（火）から5月18日（木）まで



本庁舎 1階



品種名：雪の里



西庁舎 1階



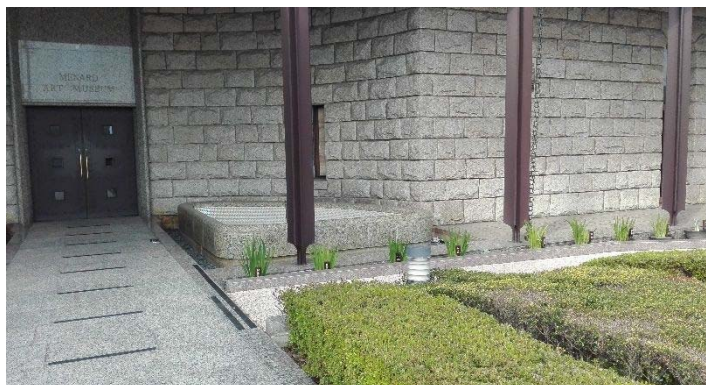
品種名：カラコロモ

3 愛知県庁以外での展示

「花の王国あいち」サポート企業の認定企業である日本メナード化粧品株式会社のメナード美術館でもカキツバタを展示しました。

■メナード美術館（小牧市小牧五丁目250番地）

展示期間 平成29年4月27日（木）から5月18日（木）まで



メナード美術館



品種名：村雨

## 4 参考

### (1) 県の花「カキツバタ」

昭和 29 年、NHK・全日本観光連盟等の共催により、郷土の花としてカキツバタが愛知県の花に選定されました。「伊勢物語」で、在原業平(ありわらのなりひら)朝臣(あそん)が現在の知立市八橋を訪れたとき、カキツバタの美しさにひかれ、カキツバタの 5 文字を句の始めに置いて旅の心を詠んだことにちなんでいます。

「唐衣(からころも) きつつなれにし 妻(つま)しあれば はるばる来ぬる  
旅(たび)をしぞ思ふ」

### (2) 日本三大カキツバタ自生地 (出典：刈谷市観光協会ホームページ)

大田ノ沢 (京都市北区・大田神社参道脇)

唐川 (鳥取県岩美郡岩美町)

小堤西池 (愛知県刈谷市)

### (3) アヤメ、カキツバタ、ハナショウブの違い

いずれも、アヤメ科、アヤメ属の多年草ですが、以下の違いがあります。

	花色	花の特徴	開花時期	葉	生育適地
アヤメ	紫、白	外側の花弁に黄色い斑と網目模様がある。	5 月上～中	表面の筋 不明瞭	乾いたところ に育つ
カキツバ タ	青紫、紫、 白、青点	外側花弁に網目模様がな く、乳白の筋がある。	5 月上～中	表面の筋 細い	水中や湿っ た所に育つ
ハナショ ウブ	紅紫、紫、 紋、覆輪	外側花弁に網目模様がな く、黄色い斑紋がある。	6 月上～下	表面の筋 太い	湿ったとこ ろに育つ

### (4) 愛知豊明花き流通協同組合

愛知豊明花き地方卸売市場の開設者で、豊明花き株式会社、日本植物運輸株式会社、豊明物流株式会社の 3 社から構成しています。平成 5 年 7 月設立。

## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

### ○ 名古屋中央卸売市場（品目：おおば）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年の主な他産地 (上位3産地)
	28年実績	236	210 (89%)	3,454	3,536
29年見通し	240	—	3,000	—	
<b>入荷量及び卸売価格の概要と見通し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
<p>主産地である愛知県の生産面積はほぼ横ばい。ここまで天候も安定しており、生育状況は順調。例年同様に梅雨時期に入ると入荷量が減少し、価格が上昇する見込み。昨秋の野菜の価格高騰から、業者が発注を控えた影響が現在まで続き、需要は落ち気味となっている。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見通し。</p>			<p>この2年ほど、ゴールデンウィークや盆、正月といった需要の高まる時期に十分な入荷量が確保できず、価格が急激に上昇した情勢となった。</p> <p>周年販売する品目であるため、年間の安定出荷とともに、特に需要期に必要な入荷量が供給できる計画的な生産を望む。</p>		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：ハウスみかん）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年の主な他産地 (上位3産地)
	28年実績	2,819	354 (13%)	1,017	1,249
29年見通し	2,850	—	1,000	—	
<b>入荷量及び卸売価格の概要と見通し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
<p>佐賀を中心に愛知、長崎、大分が入荷の大半を占める。加温の遅れがあった産地もあり、5月は前年を下回る入荷となったものの、各産地とも生育は順調。佐賀は前年は品種の切り替えに伴い一時入荷量が減少したが、本年は円滑な品種リレーにより安定した入荷となることが期待される。長崎は6月下旬から7月中旬にかけてピークを迎える見込みであり、生育は順調に推移している。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>			<p>ここ数年は初夏の天候が不安定となることが多いが、品質的に安定しているハウスみかんは底堅い需要がある。また、5月から8月にかけてのギフト商材としての引き合いが強い。</p> <p>なかでも愛知産は、他産地よりも良食味で、品質も安定しており、果物専門店や量販店などからの信頼が高い。反面評価も厳しくなるので、出荷にあたってはこれまで以上に浮皮や着色などに注意し、選果してほしい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し

名古屋市中央卸売市場

5月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	24年	32,796	209	213	196	205	愛知 22%
	25年	30,328	208	198	219	203	長野 19%
	26年	31,518	220	217	213	223	茨城 9%
	27年	32,650	251	252	256	242	北海道 6%
	28年	30,484	256	261	262	239	
	5ヵ年平均	31,555	229	—	—	—	
	29年見通し	30,400	239	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、長野を中心に茨城、北海道などから入荷する。多くの品目で産地が高冷地等 に変わってくる。4月下旬から雨の少ない 天気が続くが、愛知からの入荷量は前年並 となる見通し。 入荷量は前年並で、単価は前年をかなり 下回る見込み。							
だいこん	24年	1,744	88	89	83	94	青森 61%
	25年	1,614	82	77	77	99	愛知 17%
	26年	1,666	83	82	83	91	北海道 16%
	27年	1,829	78	67	85	90	岐阜 3%
	28年	1,562	96	86	105	103	
	5ヵ年平均	1,683	85	80	86	95	
	29年見通し	1,600	90	90	90	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
青森を中心に愛知、北海道などから入荷 する。5月時点の主産地である愛知は6月 上中旬に入荷終了。その後は、青森や北海 道からの入荷が中心となる。全体的に小玉 傾向で、今後の天候次第では単価が上昇す る可能性も。入荷量は前年をわずかに上回 り、単価は前年をかなり下回る見込み。							
にんじん	24年	1,200	165	150	163	191	岐阜 30%
	25年	1,150	141	131	143	155	徳島 15%
	26年	1,275	128	117	133	145	青森 15%
	27年	1,339	196	193	217	177	北海道 11%
	28年	1,447	151	145	167	148	
	5ヵ年平均	1,282	157	148	166	163	
	29年見通し	1,300	150	150	150	150	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
岐阜、青森、徳島、北海道が入荷の中心 となる。岐阜ではやや生育が遅れていた が、6月の入荷は順調となる見通し。青森 も生育順調。 入荷量は前年をかなり下回るものの平年 と同程度で、単価は前年並となる見込み。							

東京都中央卸売市場

5月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	24年	132,882	215	206	210	227	千葉 17%
	25年	127,634	220	208	220	232	茨城 15%
	26年	128,251	234	221	237	246	長野 11%
	27年	131,719	262	252	268	266	群馬 9%
	28年	126,267	259	268	280	259	青森 6%
	5ヵ年平均	129,351	238	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	130,000	235	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主要品目の中心産地は西南暖地から高冷地・北海道に移行する。生育状況は多くの品目で前年と比べ遅れているが平年並。5月に出荷ペースが緩慢だった果菜類も6月には回復して順調な入荷が予想される。入荷量はわずかに上回り、価格は前年をかなり下回るものの平年並となる見込み。</p>					
だいこん	24年	8,306	82	82	74	89	青森 54%
	25年	7,634	84	79	77	99	千葉 22%
	26年	8,241	79	73	77	87	北海道 16%
	27年	8,504	82	68	88	91	茨城 3%
	28年	7,878	93	82	106	102	栃木 3%
	5ヵ年平均	8,113	84	77	84	93	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7,600	90	91	90	89	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉が切り上がりで減少する分、遅れから回復した北海道が量を増やし、産地の移行は順調に進む。一部で連休明けの強風により下位等級発生懸念はあるが、産地からは影響は少ないとの見通し。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや下回るものの平年を上回る見込み。</p>					
にんじん	24年	6,381	148	147	147	150	千葉 76%
	25年	6,453	138	137	143	136	埼玉 6%
	26年	6,678	132	143	133	122	青森 6%
	27年	7,103	170	191	182	143	茨城 5%
	28年	7,490	131	136	136	121	北海道 4%
	5ヵ年平均	6,821	144	151	148	134	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7,400	130	134	128	128	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を中心に埼玉、茨城からの入荷となる。千葉は作付面積も増えており前年以上の入荷を予定。月の後半からは青森、北海道の出荷も始まり、前年同様の潤沢な入荷が見込まれる。入荷量は潤沢だった前年並で、価格も前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

5月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	24年	1,712	58	64	47	73	長野 87%
	25年	1,597	62	55	77	60	茨城 11%
	26年	1,417	84	74	82	102	愛知 1%
	27年	1,540	118	130	134	98	
	28年	1,663	76	94	96	57	
	5ヵ年平均	1,586	79	83	86	77	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,500	80	80	80	80	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>長野を中心に、茨城などから入荷する。長野は4月の降雪や冷え込みの影響により6月上旬の入荷が出遅れるものの、生育状況は順調。中旬以降は入荷量が回復する見通し。 入荷量は前年をかなり下回り、単価は前年をやや上回る見込み。</p>						
キヤベツ	24年	4,235	68	70	58	62	茨城 45%
	25年	3,384	95	73	114	102	愛知 22%
	26年	3,800	80	69	74	96	長野 14%
	27年	4,236	87	95	85	84	群馬 7%
	28年	3,529	108	106	122	100	
	5ヵ年平均	3,837	87	82	89	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	3,650	100	100	100	100	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城、愛知を中心に、長野、群馬などから入荷する。6月上旬に茨城と愛知が入荷ピークとなり、中旬以降に長野と群馬からの入荷が始まる。長野と群馬は干ばつと朝晩の低い気温の影響で入荷の遅れも懸念される。入荷量は前年をやや上回り、単価は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>						
ほうれんそう	24年	287	499	473	466	544	岐阜 72%
	25年	221	555	463	577	677	茨城 12%
	26年	203	565	484	543	690	長野 6%
	27年	261	589	574	593	599	愛知 6%
	28年	248	619	624	618	615	
	5ヵ年平均	244	564	525	557	619	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	250	600	600	600	600	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>岐阜を中心に茨城、長野、愛知などから入荷する。6月は岐阜の高冷地が主産地となるが、現在の生育状況からは順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年並で、単価は前年をやや下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

5月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほういさ	24年	5,583	50	47	42	60	長野 57%
	25年	5,197	57	38	73	59	茨城 21%
	26年	5,397	79	59	76	99	群馬 19%
	27年	5,681	111	96	135	95	
	28年	6,037	72	74	88	55	
	5ヵ年平均	5,579	74	63	83	73	
	29年見通し	6,100	60	60	65	55	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主力の長野は好天に恵まれ、やや前進傾向で中旬以降に増加。出荷量も平年をやや上回る予想。群馬も6月後半から7月前半がピークとなる。全般的に生育は順調で入荷は潤沢。</p> <p>入荷量は多かった前年並で、価格は潤沢な入荷を受け前年を大幅に下回る見込み。</p>					
キヤベツ	24年	16,975	55	57	50	58	千葉 40%
	25年	13,580	81	69	88	87	茨城 24%
	26年	14,420	71	61	63	92	群馬 19%
	27年	16,267	79	76	75	87	神奈川 5%
	28年	15,278	94	85	106	92	愛知 3%
	5ヵ年平均	15,304	76	70	76	83	
	29年見通し	15,200	75	70	70	85	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城など関東主要産地がシーズン後半に入る一方、中旬以降は群馬高冷地の出荷が始まる。上中旬は各産地とも生育順調のため入荷潤沢となり、下旬は産地移行のための端境が予想される。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	24年	1,453	391	366	362	447	群馬 29%
	25年	1,286	443	400	408	561	茨城 29%
	26年	1,370	446	350	454	565	栃木 16%
	27年	1,434	492	508	473	501	岩手 11%
	28年	1,315	478	492	476	468	岐阜 5%
	5ヵ年平均	1,372	450	423	434	507	
	29年見通し	1,300	460	460	465	455	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地は群馬、茨城に栃木が5月末から加わる。岩手は連休明けの強風でビニールの展張が遅れ、入荷量の伸び悩みと品質低下が散見されるが、今後は生育遅れと品質低下とともに回復が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年やや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

5月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

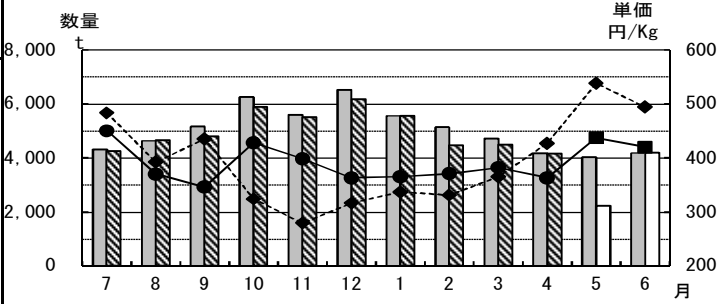
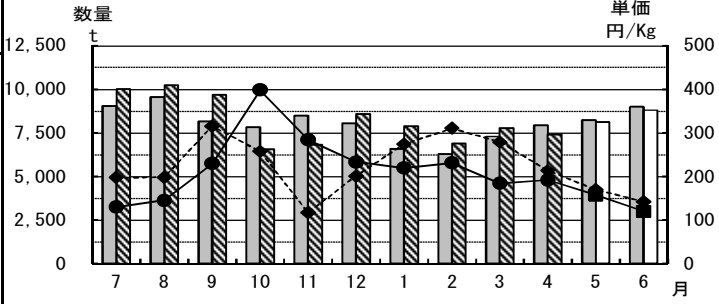
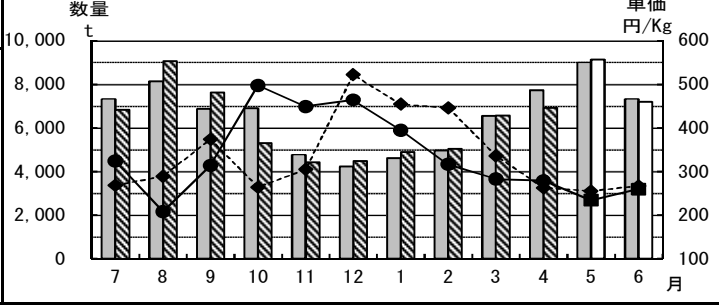
品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	24年	652	363	389	389	424	愛知 27%
	25年	704	424	408	421	464	茨城 15%
	26年	676	401	401	398	410	大分 15%
	27年	654	471	480	489	472	静岡 11%
	28年	581	498	514	516	495	
	5ヵ年平均	653	430	436	440	452	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	600	470	470	470	470	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>夏ねぎは愛知など、白ねぎは大分などが中心となる。愛知の夏ねぎは順調。大分、鳥取の白ねぎは春作と夏作の切り替わりにより上旬の入荷量が落ちるが、昨年ほどの値上がりはない見通しで、中旬以降の入荷は順調となる。入荷量は前年をやや上回り、単価は前年をやや下回る見込み。</p>					
レタ	24年	1,631	124	134	133	151	長野 99%
	25年	2,070	108	139	105	106	愛知 1%
	26年	2,155	144	140	150	154	
	27年	2,219	153	169	156	153	
	28年	2,118	144	188	146	133	
	5ヵ年平均	2,038	135	155	139	139	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,000	140	150	140	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野が入荷の中心となる。5月時点の長野は干ばつにより入荷が遅れ気味となっているが、7月中旬頃まで順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、単価は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
きゅうり	24年	1,656	204	168	186	275	長野 33%
	25年	1,461	268	274	253	291	愛知 27%
	26年	1,574	251	217	275	280	群馬 15%
	27年	1,549	235	193	261	267	埼玉 10%
	28年	1,396	275	276	261	293	
	5ヵ年平均	1,527	245	223	246	281	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,370	270	250	280	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、愛知、群馬、埼玉などから入荷する。愛知や宮崎の冬春きゅうりは例年よりも早い切り上がりとなる見込み。群馬や埼玉の夏秋きゅうりは生育順調。 入荷量及び単価は前年並となる見込み。</p>					



東京都中央卸売市場

5月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	24年	4,826	326	325	322	330	茨城 64%
	25年	4,332	409	360	416	453	千葉 23%
	26年	4,371	397	403	420	365	中国 5%
	27年	4,382	468	459	465	480	埼玉 4%
	28年	4,184	494	512	488	482	栃木 2%
	5ヵ年平均	4,419	416	409	420	420	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	4,200	420	420	420	420	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>茨城、千葉とも前年の作柄は前進傾向となったが、本年の作柄は平年並で安定している。下旬は関東産から東北産への移行期となるが、中国産も十分量が出回るため、不足感はない。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>
しそ	24年	7,959	134	124	124	151	長野 75%
	25年	8,673	112	127	105	106	群馬 20%
	26年	7,991	148	133	151	159	岩手 3%
	27年	8,591	152	150	152	154	茨城 1%
	28年	8,988	142	180	139	119	
	5ヵ年平均	8,440	137	144	134	137	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	8,800	135	130	140	135	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>引き続き長野、群馬からの入荷が中心となる。関東産、西南暖地が上旬でほぼ切り上がるが、下旬は長野がピークに入るため潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は潤沢入荷した前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>
きゅうり	24年	7,465	192	153	172	256	埼玉 26%
	25年	6,853	270	278	246	296	群馬 19%
	26年	7,069	268	220	320	271	福島 15%
	27年	7,760	224	198	242	232	茨城 9%
	28年	7,324	267	255	250	302	千葉 8%
	5ヵ年平均	7,294	243	220	245	271	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7,200	260	265	265	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>埼玉などの関東産地が減少に向かう。本来東北産が増える時期となるが、生育遅れや成り疲れ等から出荷量は伸び悩んでいる。生育自体は順調で回復次第徐々に入荷が伸びるとの予想。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>

名古屋市中央卸売市場

5月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	24年	1,100	318	298	334	329	愛知 41%
	25年	1,067	254	251	263	257	熊本 25%
	26年	1,270	282	284	278	286	宮崎 21%
	27年	1,148	347	353	355	352	高知 6%
	28年	1,030	353	380	368	321	
	5ヵ年平均	1,123	310	312	318	309	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,100	340	340	340	340	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、熊本、宮崎を中心に入荷する。愛知は4月の曇天続きと冷え込みで5月の入荷量が減少しており、その分6月の入荷が増加すると思われる。熊本は昨年のような地震の影響もなく順調。入荷量は前年をかなり上回り、単価は前年をやや下回る見込み。							
ト マ ト	24年	1,784	289	302	279	297	愛知 30%
	25年	1,660	240	214	271	255	熊本 29%
	26年	1,923	208	204	188	251	三重 15%
	27年	1,866	279	266	280	297	岐阜 11%
	28年	1,525	297	284	311	299	
	5ヵ年平均	1,752	261	253	263	279	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,550	280	270	280	290	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、熊本を中心に三重、岐阜などから入荷する。5月中旬時点では、順調な入荷が続く。冬春トマトは6月に入荷量が減少し、岐阜、北海道、東北地方から夏秋トマトの入荷が始まる。夏秋作も各産地ともに生育順調。入荷量は前年並で、単価は前年をやや下回る見込み。							
ミ ニ ト マ ト	24年	467	545	560	479	570	愛知 47%
	25年	479	526	445	553	599	熊本 31%
	26年	506	514	505	467	548	北海道 10%
	27年	495	594	592	583	612	和歌山 8%
	28年	473	651	639	692	627	
	5ヵ年平均	484	566	548	554	591	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	480	550	500	550	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、熊本を中心に北海道、和歌山などから入荷する。愛知、熊本は下旬に向かい入荷量が減少し、北海道から夏秋作の入荷が始まる。北海道の作柄は順調。産地の切り替わりのため、下旬に向けて単価が上昇する。入荷量は前年並で、単価は前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

5月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	24年	4,362	348	340	349	354	高知 30%
	25年	4,294	310	297	303	335	群馬 17%
	26年	4,787	347	327	357	356	福岡 14%
	27年	4,859	363	354	370	366	栃木 9%
	28年	4,681	400	411	420	366	茨城 8%
	5ヵ年平均	4,597	354	347	361	356	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	4,700	380	410	380	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、群馬、福岡などからの入荷が中心となる。目立った問題もなく概ね生育順調。梅雨に入ると品質への影響が懸念されるが入荷自体は順調と予想される。中旬以降は露地ものも入荷。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ト マ ト	24年	9,401	308	320	292	309	栃木 24%
	25年	9,286	249	226	263	262	千葉 14%
	26年	9,536	234	215	228	266	茨城 13%
	27年	9,608	292	276	299	308	愛知 11%
	28年	9,120	297	281	305	307	熊本 10%
	5ヵ年平均	9,390	276	264	277	290	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	9,300	275	265	280	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木、千葉、茨城、本県からの入荷が中心となる。各産地とも天候に恵まれ前年よりも順調に生育との情報。現状で出方の鈍い関東産も回復が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は潤沢な入荷により前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	24年	1,741	511	523	468	538	熊本 24%
	25年	1,966	447	396	476	476	愛知 24%
	26年	2,106	439	439	427	452	千葉 13%
	27年	1,922	556	556	559	554	茨城 12%
	28年	1,837	599	583	636	579	宮崎 6%
	5ヵ年平均	1,914	508	497	511	517	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,800	520	500	520	540	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、本県、宮崎、千葉からの入荷が中心となる。茨城は若干の遅れがあるものの生育は順調。今月中旬にもピークを迎えると予想される。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高値の前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

5月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	24年	618	230	264	232	272	茨城 53%
	25年	571	259	211	305	377	宮崎 24%
	26年	610	239	217	267	309	高知 22%
	27年	651	335	341	355	366	岩手 1%
	28年	605	329	315	346	351	
	5ヵ年平均	611	279	271	301	335	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	600	320	300	330	330	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿兒島からの入荷は5月で終了し、茨城、宮崎、高知を中心とした入荷となる。6月下旬からは岩手の入荷が始まる。入荷量は前年並で、単価は高かった前年をわずかに下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	24年	3,035	75	82	76	70	長崎 59%
	25年	2,823	95	94	98	95	静岡 25%
	26年	2,475	122	127	124	119	北海道 6%
	27年	2,697	223	213	211	253	熊本 5%
	28年	2,224	213	231	216	199	
	5ヵ年平均	2,651	141	145	141	143	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,500	150	150	150	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長崎を中心に、静岡、北海道、熊本、愛知などから入荷する。5月中旬時点では長崎からの入荷がピークで、6月中旬に入荷が終了する見通し。5/20頃には静岡からの入荷も始まる。入荷量は前年をかなり上回り、単価は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	24年	3,107	110	104	106	126	愛知 63%
	25年	3,259	74	73	84	67	兵庫 20%
	26年	3,879	96	101	95	94	北海道 15%
	27年	3,831	115	121	129	96	中国 2%
	28年	4,132	115	125	107	130	
	5ヵ年平均	3,641	103	106	105	103	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	4,000	110	100	110	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に、兵庫、北海道などから入荷する。愛知、兵庫とも順調だが、愛知は下旬に向け入荷量が減少する見通し。入荷量・単価ともに前年をやや下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

5月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	24年	2,621	330	393	304	295	茨城 84%
	25年	2,701	272	362	259	202	高知 6%
	26年	2,440	250	214	256	287	宮崎 4%
	27年	2,499	334	343	349	306	岩手 4%
	28年	2,408	347	342	347	351	
	5ヵ年平均	2,534	306	332	302	286	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,600	320	340	310	310	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城を中心に高知、宮崎などからの入荷となる。主力の茨城は6月中旬に2回目のピークを迎え入荷量は潤沢となる。岩手などの東北産も増加し露地ものも出始める。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回るものの平年を上回る見込み。</p>							
白菜	24年	12,363	112	147	106	94	長崎 52%
	25年	10,682	101	96	104	105	静岡 14%
	26年	8,784	128	132	127	124	茨城 11%
	27年	8,138	239	221	237	272	千葉 10%
	28年	7,694	207	225	208	182	熊本 7%
	5ヵ年平均	9,532	150	158	148	147	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	8,500	140	140	140	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>長崎を中心に静岡、茨城、千葉からの入荷となる。長崎は既にピークに入っており、6月中旬には続く静岡もピークを迎えることから入荷増で安値安定の予想。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は高値の前年を大幅に下回る見込み。</p>							
たまねぎ	24年	14,161	100	102	97	100	佐賀 40%
	25年	15,134	65	64	67	66	兵庫 20%
	26年	10,705	110	107	104	118	香川 12%
	27年	10,087	130	125	129	138	栃木 7%
	28年	8,342	146	143	149	148	群馬 3%
	5ヵ年平均	11,686	105	103	103	108	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	10,000	125	115	125	135	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>佐賀、兵庫、香川からの入荷が中心となる。昨年、べと病により数量減らした佐賀は作柄が回復し昨年を上回る。兵庫、香川も作柄良好のため、入荷量は激増する予想。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値の前年をかなり下回るものの平年を上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

※「その他メロン」は「アールスメロン」以外のメロンをいう。

5月19日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	24年	9,486	334	323	339	361	愛知 23%
	25年	9,381	337	347	353	349	フィリピン 15%
	26年	8,640	354	355	358	350	熊本 11%
	27年	8,677	381	377	371	394	青森 10%
	28年	7,626	416	409	417	416	
	5ヵ年平均	8,762	362	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7,100	400	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知、フィリピン、熊本、青森などから入荷する。品目はすいか、メロン類を中心にもも、ぶどうなどが入る。低い気温による入荷時期の遅れや少雨による果実の肥大不足などで、入荷量の減少が懸念される。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						
その他	24年	1,165	287	307	286	282	熊本 33%
	25年	1,074	288	302	299	320	愛知 28%
	26年	1,190	301	288	292	323	茨城 22%
	27年	1,233	307	358	304	271	メキシコ 11%
	28年	934	310	346	301	289	
	5ヵ年平均	1,119	298	320	296	297	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	850	310	0	0	0	
メロン	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知、茨城が入荷の中心となる。栽培面積は全国的に減少傾向で、熊本などではメロンからトマト類に品目転換する生産者も見られる。愛知は6月に入荷ピークとなり、7月初めまでの入荷となる見通し。入荷量は前年をかなり下回り、単価は前年並となる見込み。</p>						
すいか	24年	2,121	180	206	198	172	愛知 54%
	25年	1,823	190	207	210	195	熊本 21%
	26年	2,124	184	227	208	168	鳥取 9%
	27年	1,958	166	228	187	152	和歌山 8%
	28年	2,253	192	229	190	167	
	5ヵ年平均	2,056	183	220	198	170	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,200	190	0	0	0	
いか	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知を中心に、熊本、鳥取などから入荷する。愛知では昨年入荷時期が前倒しされ6月の入荷量が増えたが、今年も施設栽培の入荷は早くなる見通し。施設物と露地物の入荷の切れ目も少なくなると思われる。入荷量は前年をわずかに下回り、単価は前年並となる見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

5月29日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	24年	30,172	376	354	379	389	茨城 20%
	25年	29,672	378	357	379	399	千葉 16%
	26年	29,458	416	385	420	440	青森 11%
	27年	30,811	425	425	434	416	フィリピン 10%
	28年	29,889	443	446	455	430	熊本 10%
	5カ年平均	30,000	408	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	30,000	420	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	すいか類、メロン類中心にびわ、もも、ハウスみかんなどが入荷する。すいかやメロン類では3月末の天候不良で入荷量が少なかったが、今月には解消してくる見込み。露地ものは生育は大幅に前進した前年に比べると遅れているが平年並の状況。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。						
その他	24年	5,139	323	334	338	303	茨城 76%
	25年	4,197	365	400	361	332	千葉 12%
	26年	5,407	340	359	342	319	熊本 5%
	27年	5,293	335	424	351	252	山形 3%
	28年	4,788	375	420	369	336	メキシコ 2%
	5カ年平均	4,965	346	387	352	308	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	4,800	360	400	350	300	
メロン	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	クインシー、アンデスは茨城、タカミは茨城、千葉中心に入荷する。関東産地を中心に3月末の天候不順の影響で小玉傾向がみられるが、天候回復により玉肥大は回復しており順調な入荷となる見込み。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。						
すいか	24年	9,042	187	212	193	168	千葉 41%
	25年	8,661	207	215	212	196	茨城 21%
	26年	9,471	212	233	216	189	熊本 19%
	27年	10,346	194	245	191	154	鳥取 9%
	28年	10,462	197	229	194	175	新潟 5%
	5カ年平均	9,596	199	227	201	176	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	10,500	200	220	190	180	
いか	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	大玉は千葉、熊本、小玉は茨城を中心に入荷する。千葉は3月末の天候不順で生育遅れも見られたが、現在は回復し生育は順調。熊本は着果状況良く出荷量は前年を上回る見込み。茨城の小玉は生育順調で入荷ピークを迎える。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。						

# 切花・鉢花の6月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 5月31日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	24年	2,269	31	
		25年	1,575	48	
		26年	1,673	42	
		27年	1,789	39	
		28年	1,531	52	
	5ヶ年平均		1,767	41	
	29年見通し		1,600	45	
概要	愛知、三重を中心に入荷する。夏秋系の品種に順次切り替わり、高冷地産の出荷も始まる。一般需要は鈍く、相場は業務の動き次第となる。				
小 ぎ	実績	24年	1,387	22	
		25年	1,172	33	
		26年	1,327	31	
		27年	1,461	21	
		28年	1,400	25	
	5ヶ年平均		1,349	26	
	29年見通し		1,350	25	
概要	愛知、奈良、埼玉などから入荷する。地場物の生産減、春先の低温から高冷地産の出回りが昨年よりもやや遅れ、前半は少なく、堅調な動きが見込まれる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	24年	1,109	32	
		25年	789	53	
		26年	1,037	41	
		27年	942	49	
		28年	964	43	
	5ヶ年平均		968	43	
	29年見通し		950	45	
概要	長野を中心に愛知、岐阜、和歌山などから入荷する。今年は暖地産において前半抑制があったものの、後半は順調で切上りも早い。高冷地産は少し遅れ気味。6月はスプレーを中心に数量的に少ないため、単価はそこそ安定する見込み。				
か す み	実績	24年	136	63	
		25年	133	79	
		26年	147	73	
		27年	127	86	
		28年	130	82	
	5ヶ年平均		135	77	
	29年見通し		130	80	
概要	長野が中心で和歌山、九州は終了に向かう。福島産の入荷は後半になりそうで、やや少なくなる見込み。業務の動き次第であるが、例年より強い動きとなる。特に下位等級は少なく注意したい。				



単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	24年	410	127	
		25年	397	119	
		26年	401	117	
		27年	355	141	
		28年	357	122	
	5ヶ年平均		384	125	
	29年見通し		350	125	
概要	<p>オリエンタルは新潟、埼玉、高知、愛知などから入荷する。新潟産は前半少なく、中旬以降増加し、月全体ではやや少ない。LAは埼玉中心。鉄砲は高知、岐阜中心でやや多い入荷となりそう。需要期ではなく、業務の動き次第で相場は変動する。</p>				
洋 ら ん	実績	24年	364	79	
		25年	357	86	
		26年	367	90	
		27年	319	99	
		28年	369	77	
	5ヶ年平均		355	86	
	29年見通し		360	80	
概要	<p>鹿児島、愛知、静岡、輸入物が入荷する。低迷していたらん類も入荷が落ち着き、若干価格は回復する見込み。シンビジウムは輸入品に移行し、胡蝶蘭も中旬以降は輸入、国産とも入荷が落ち着くと予想される。</p>				
ば ら	実績	24年	923	54	
		25年	945	50	
		26年	977	38	
		27年	897	53	
		28年	860	50	
	5ヶ年平均		920	49	
	29年見通し		900	50	
概要	<p>愛知、岐阜、三重などから入荷する。準高冷地の長野の出荷も進んでいる。梅雨時期に入り、店売りが停滞する分、ジュンブライド需要に期待するも日柄があまりよくないことが懸念材料。</p>				
枝 も の	実績	24年	1,534	39	
		25年	1,337	44	
		26年	1,472	42	
		27年	1,375	45	
		28年	1,314	45	
	5ヶ年平均		1,406	43	
	29年見通し		1,350	45	
概要	<p>岐阜、長野を中心に入荷する。天候により10日程出荷は遅れ気味。入荷量も少なく、人気商材のドウダン、アブラドウダンは堅調となる見込み。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	24年	22,302	1,034	
		25年	21,385	922	
		26年	25,526	922	
		27年	22,928	997	
		28年	19,003	1,014	
	5ヶ年平均		22,229	976	
	29年見通し		19,000	1,000	
概要	<p>入荷量は前年並か。作付けの大きな変更はなく、6号サイズが主体でMIXでの入荷が多い。色別では「赤」「ピンク」が主体になる見込み。 前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(99.2%)、2位岐阜(0.6%)、3位三重(0.1%)となっている。</p>				
フ ア レ ノ プ シ ス	実 績	24年	21,785	3,070	
		25年	22,204	3,121	
		26年	26,025	3,164	
		27年	26,347	3,078	
		28年	23,804	3,360	
	5ヶ年平均		24,033	3,159	
	29年見通し		23,000	3,200	
概要	<p>入荷量は前年並もしくは減少か。単価は大輪系、ミディー系ともに不安定になる予想。温度、湿度が上がってくるので、出荷時に注意が必要となる。また、開花が早まってくるので7分～8分咲きでの安定出荷をお願いしたい。 前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(57.2%)、2位静岡(8.0%)、3位宮崎(6.3%)となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	24年	22,542	225	
		25年	29,421	210	
		26年	40,149	168	
		27年	26,664	225	
		28年	28,991	160	
	5ヶ年平均		29,553	194	
	29年見通し		29,000	159	
概要	<p>入荷量は前年並か。母の日需要も一段落し、販売も厳しい見込みであるが、バラが綺麗に見える時期となるのでより一層の良品出荷をお願いしたい。 前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(50.4%)、2位愛知(19.8%)、3位愛媛(16.1%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイドロランジア	実績	24年	47,455	405	
		25年	51,218	514	
		26年	66,926	560	
		27年	60,498	478	
		28年	60,623	478	
	5ヶ年平均	57,344	491		
	29年見通し	61,000	484		
概要	<p>入荷量は前年より増加。生産量が増えていることと、気候の関係で1～2週間全体的な生育が遅れている点もあり、5号を中心に増加する見込み。装飾花の丈夫な品種は秋色にしての出荷も多く見込める。ベーシックな玉の青・ピンク系を中心に、玉系額系バイカラータイプが人気の中心となる。前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（71.4%）、2位埼玉（9.3%）、3位群馬（6.8%）となっている。</p>				
スパティ	実績	24年	17,869	306	
		25年	20,927	281	
		26年	17,743	324	
		27年	21,235	269	
		28年	7,877	392	
	5ヶ年平均	17,130	302		
	29年見通し	7,000	300		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。3～4号に関しては昨年同様となる見込みだが、5～6号は減少する見込み。輪数は3本～5本仕立てが理想である。6月は御中元商戦により需要が高くなるので5～6号が必要となる。 前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重（42.3%）、2位愛知（38.0%）、3位岐阜（19.1%）となっている。</p>				
ドラセナ類	実績	24年	42,796	702	
		25年	42,349	735	
		26年	41,480	753	
		27年	31,934	736	
		28年	25,529	744	
	5ヶ年平均	36,818	733		
	29年見通し	25,000	740		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。愛知県産が中心での入荷となるが、輸入原木の減少とドラセナ類以外への作付け変更も影響し全体量は減る。 昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（65.1%）、2位沖縄（9.3%）、3位三重（6.0%）となっている。</p>				



## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.528  
平成29年6月発行  
農林水産部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434